

展望台からの眺めを真空内に

「特許取得済」

○ 広視野角 真空カメラバキュームアイ<MVE-06>

Vacuum Eye "mve-06"

Vacuum Eye "mve-06"

Front side

USB2.0 Cable

Extension Lead Wire Thermocouple

NW40 flange

Flexible tube

LED Light×2

Camera Unit
(About 180° view)

LED Light ×2

Φ4 Air tube

φLED cable

Detachable Part

写真は広視野角真カメラMVE-06空冷仕様

Back side

○ 撮影したイメージ画像



180° のパノラマの様な映像

魚眼レンズと違う自然な映り方

カラーで録画・静止画撮影可能

○ 使用イメージ

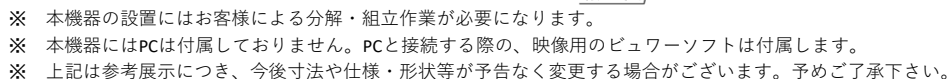
- ・インライン等の大型の真空装置の槽内の観察
- ・長尺や幅のあるワークを取り扱う工程
- ・真空内での搬送や摺動部の様子を観察したい
- ・真空槽内のトラブルの可視化や現象確認 など

○ 仕様

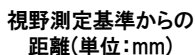
名 称	広視野角 真空カメラバキュームアイ
型 式	MVE-06
取付フランジ	NW40フランジ
有効画素数	30万画素
画像出力	USB2.0
標準ケーブル長	約1.5m(真空側+大気側合計長さ)
使用環境圧力(参考)	10 ⁻⁵ Pa台まで ※ 社内実績(10 ⁻⁶ Pa台)
使用真空内環境温度	常温～70℃<空冷仕様> 空冷仕様条件 ※裏面参照
オプション(対応可能例)	全長変更 ※使用温度 別途相談 フランジ規格サイズ変更(ICF・NW・JIS その他)

販売元 ・ お問い合わせ
 椿本興業 株式会社
 開発戦略本部 ATOM BD 五十畑(イカハタ)
 TEL : 06-4795-8816
 MAIL : takahide.ikahata@tsubaki.co.jp

製造元
 株式会社 ムサシノエンジニアリング
 〒339-0068 埼玉県さいたま市岩槻区並木2-10-10
 TEL048-756-8792, FAX : 048-756-8793
 URL <http://www.musashino-eng.co.jp/>



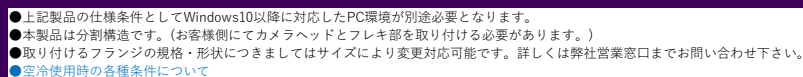
※ 本機器は3台のカメラを内蔵しており、画像をつなぎ合わせて表示する為、カメラの向く方向や設置環境・被写体との位置によって、上記視野範囲・視野角度以下の視野になる可能性があります。予めご了承下さい。



※ 本機器は3台のカメラを内蔵している関係上、画像をつなぎ合わせており、画面上のカメラの向く方向や設置環境、被写体の位置によって、上記視野範囲・視野角度以下での視野にない可能性があります。また横視野方向では複数のカメラで映すことによる画面の歪みが生じることがあるため、同一画面での表示にはなりません。おおよそこの値として約180°という表記となります。予めご理解・ご承知下さい。

※モニターとこの設定環境により表示される見え方と視野範囲の範囲が変動する場合があります。

※モニターするPCとその設定環境により表示される見え方や視野の範囲が変動する場合があります。



冷却エアー		ドライエアー	カメラ温度		35℃以下 (推奨値)
エアー圧力		エアー圧力0.35MPa以上0.5MPa以下			※ 付属のK型熱電対に温度表示器を接続し、CMOSカメラの温度が
エアー流量	常時 20 ℓ/min以上	使用環境内温度が常温以上の場合は40 ℓ/min以上			上記温度を超えない様、常時温度を維持管理して下さい。
	エアーは原則として流量管理を常時行ってください。				
エアー温度		25℃以下	エアー取り付け口	φ4mm TUBE	
	※エアーの温度より低い装置温度の場合は結露する場合があるので、温度を管理してください。			エアー用のドライヤー	
使用環境圧力(参考)	10 ⁶ Pa台まで	※社内実測(参考:常温度)		エアーフィルター	
	※常温〜70℃<空冷仕様>			エアーレギュレーター	
使用真空内環境温度		熱源への直接の接触不可(熱伝導)	本機器的供給直前に必要なもの		流量計:40ℓ/minが表示できるもの

・本機器はエアーによる空冷仕様を前提として作られています。本機器を導入頂く際にはユーザー側で上記ユーザーティリーの設備が必要となります。エアー供給無しでの使用には対応しておりません。

・本機器を空室装置や機器に取り付けの際は、必ずカメラ温度が35℃以下 (推奨値) になるように使用して下さい。またカメラを取り付けたまま使用しない場合でも、常にカメラ温度が35℃以下 (推奨値) になるようエアーを常時供給して下さい。

・本機器はPCのUSBコネクタに接続した段階でソフトを起動しないでも自己発熱が起ります。これはUSBからの電源供給に伴う熱交換で、使用しない場合は必ずUSBコネクタをPCから外して下さい。

・また装置側を加熱してなくても、本機器のUSBをPCに接続した状態でも発熱しますので、必ずカメラ温度が35℃以下 (推奨値) になるようにエアーを供給し続けて下さい。

・上記真空内で使用する温度は真空標準長さ : 400mmの場合で、かつ各種条件を満たした上で使用頂く場合の目安です。

・カメラの使用温度は設置場所や取り付ける向き・長さ・圧力・その他使用される環境により、異なります。予めご了承下さい。

・急冷・急加熱などの温度サイクル・ヒートショックのある環境下では使用しないでください。機器が破損する恐れがあります。

・使用温度範囲内でなくても熱源へ直接接触させたり、極近傍まで近づけて使用するはおやめください。カメラ本体及び接続しているケーブル類が熱により変形・溶着するだけでなく、機器が破損する恐れがあります。

・ベキーン等を行う際は機器を取り外すか、または本機器にエアーを供給し、内部のカラ温度を35℃以下 (推奨値) にして下さい。また供給を停止した後、再び起動する場合でも同様の手順で確認を行ってください。

・エアーを本機器に接続する前にエアーから水分および油分が出ていないことを確認してから本機器に接続して下さい。また供給を停止した後、再び起動する場合でも同様の手順で確認を行ってください。